

団体名	国立大学法人北海道大学高等教育推進機構						
事業名	地域の農業と観光資源を活かした外国人留学生と地域住民の異文化交流						
実施期間	2018年8月10日(金)～8月11日(土)						
場 所	北海道旭川市、北海道上川郡剣淵町						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	12	1	4	30	3		50名

<実施内容>

8月10日(金)、11日(土)の2日間、北海道旭川市、北海道上川郡剣淵町にて、留学生と北海道の地域住民との異文化交流を目的として、学務部学生支援課により留学生との地域交流事業が開催されました。この事業では、北海道大学で4月より同学の山下好孝教授による日本語研修プログラムを学んだ12ヶ国12名の外国人留学生と、5名の新渡戸カレッジ学生が参加しました。

1日目は、旭川市「雪の美術館」の館内で雪や氷の展示を楽しんだあと、雪にまつわる装飾が施された館内を見学し、ホールで生のピアノ演奏を楽しみました。その後、剣淵町役場にて剣淵町長と日本語でご挨拶や質疑応答をしました。午後からは剣淵町絵本の館にて、4万冊の絵本が収蔵されている館内や原画展を見学しました。その後体験教室で剣淵町の児童ら23名、地域住民によるスタッフら約10名と合流し、絵本の読み聞かせに聞き入り、絵本づくりを体験しました。交流の最後には英語のダンスと一緒に踊り、北大生からは、参加のお礼として札幌農学校クッキーを渡しました。その日の夜は、剣淵温泉レークサイド桜岡にて、新鮮な地元野菜を使った夕食を楽しんだあと、グループでオリエンテーションを行い、学生同士の親交を深めました。

2日目の朝、7名の剣淵高校生と合流した参加者は、剣淵町の株式会社VIVAマルシェ系列、工藤農園で農業体験を行いました。経営者の工藤さんの説明を聞きながら、色や形の異なる50種ものカラフルなミニトマトのトマト狩りを楽しみました。午後からは、約10名の地域住民と町特産の多品種の朝採れ野菜でバーベキューを行いました。参加者は、農家の皆さんが握ったおにぎりに、生でも食べられる白いとうもろこしをはじめ、ナス、トマト、パプリカ、ニンジン、ピーマン、たまねぎなどの野菜や、焼鳥などを思い思いに焼いて味わいました。最後は、高校生と留学生がダンスを踊って心をひとつにし、別れを惜しまれました。

参加者達は、2日間を通じて地域の児童・高校生・住民らと農業や絵本を通じて交流を楽しみ、日本語や地域文化を学んだほか、日本人学生と留学生の間でも交流を深めていました。

<記録写真>



1.真剣な表情で絵本を作る留学生と小学生 2.剣淵町の朝採れ野菜のバーベキュー 3.高校生、VIVAマルシェのみなさんと

<参加者からのコメント>

バギャ ラクシュミーさん(インド)/Bhagya Lakshmi

川島 聡さん(日本)/Satoshi KAWASHIMA

As we reached, we were warmly welcomed by the Mayor of Kenbuchi-cho. We interacted with them and it was interesting to know about the character of Kenbuchi which is "Puchina". Our stay at the hotel, Lakeside Sakuraoka was also an unforgettable experience. We were also joined by a group of students from Kenbuchi high school who were very enthusiastic to interact with us. We visited a tomato farm and was amazed by the hues it offered. The open-hearted farmers allowed us to taste their produce and take a portion to home as well. Later that day, we even had a barbecue with the fresh vegetables of Kenbuchi. The sweet white corn was the main attraction. We really had a great time at Kenbuchi and the warm-hearted hospitality of the people. Those memories would be cherished in our heart forever.

まず、旭川市では、雪の美しさと、雪が多いからこそ雪を用いて観光を盛り上げようとしていたことを学びました。次に、剣淵町の交流では、絵本に対する地域ぐるみの盛り上がり印象に残りました。農場が広く、意外にも都会から農家に転職された方がいたことに驚きました。そんな環境で育った小学生や高校生は、都会に住んでる学生とはまた違う考えを持っている気がして、交流できて楽しかったです。

今回、日本(北海道)の田舎の暮らし、文化に触れることができ貴重な体験ができました。僕自身はほぼ初対面の留学生たちとうまくコミュニケーションを取れるか心配でしたが、2日間を通してフレンドリーな留学生と楽しく過ごすことができました。